

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら藤沢教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりを理解し、コミュニケーションを大切にした支援・発達段階や特性に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様に対して否定的な発言はせず、なるべく自己肯定感を高められるよう声かけをしている</li> <li>達成できた時やできないことが出来た時、都度褒めるよう心がけている</li> </ul>	引き続き、職員間で連携を取りつつ、ご利用者様との関わりを大切にしてい
2	イベントが充実している	季節に応じたイベントやご利用者様の意見も取り入れたイベントを、職員皆で考えて決めている	今後も固定化せず、幅広い内容の活動を計画していく
3	研修やミーティングを定期的にし、職員間で情報共有している	保護者様から伺ったご利用者様のご様子や変化、療育を通して得た情報を共有したり、研修をして、学びの場を作っている	研修やミーティングの日に参加していない職員にも抜けが無いよう伝えるのと同時に、世の中のニュース等にも目を向け、必要に応じてその対策を考え研修などをして知識を高める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の日々のお子様に関する悩みや話をゆっくりと聞く時間が取りづらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>お仕事をされている保護者が多いため、躊躇してしまう</li> <li>送迎時は他の生徒さんがいらっしゃることもあり話をする時間が限られてしまう</li> </ul>	日頃から保護者に声掛けをし、必要に応じて家族との面談を実施する
2	下校時間が遅く、教室で過ごす時間が短いご利用者様の活動をどのように充実させていくかが課題である	着脱、排泄、間食、活動と短時間でやるべきことが多くそれぞれ全てに長い時間をかけられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の内容は、短時間でもご利用者様にとって意味のある楽しいものになるよう事前準備を行なう</li> <li>活動以外の行動の順番を工夫するなどする</li> </ul>
3	地域との交流、職業体験ができる活動が少ない	ご利用者様が負担を感じないよう、特性に十分に配慮した活動を提供することが重要であると考えている	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事やイベントなど情報収集をして、交流できる機会をつくる</li> <li>将来を見据えた体験ができる機会をつくる</li> </ul>